

2017年3月1日

横浜美術館コレクション展

2017年3月25日(土)ー6月25日(日)

「自然を映す」

【写真展示室】特集展示:写真と絵画ーピクトリアリズムの興隆

横浜美術館

今回のコレクション展は、第33回全国都市緑化よこはまフェア『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』(2017年3月25日~6月4日)の開催に寄せて、「自然を映す」と題し、美術家たちが自然をどう捉え表現してきたかをコレクションからご紹介します。加えて、企画展「ファッションとアート 麗しき東西交流」(2017年4月15日~6月25日)に関連して、東西交流の視点から美術作品をご覧いただくセクションも設けます。

[連携協力]第33回全国都市緑化よこはまフェア実行委員会

左)丸山晚霞
《題名不詳[夏の山岳風景]》
制作年不詳
水彩、紙、67.8×50.3cm
小島豊氏寄贈(小島烏水旧蔵)

右)安田毅彦《窓》1951年
紙本着色、117.2×75.0cm



展示構成

自然を映す

- 1.自然に向き合う
- 2.庭園にみる東西のまなざし
- 3.植物をみつめる:長谷川潔と駒井哲郎
- 4.水彩で描く風景
- 5.現代の表現から
- 6.現代の表現から:菅木志雄
- 7.日本画:花鳥風月、共に在り

【写真展示室】特集展示:写真と絵画ーピクトリアリズムの興隆

身近な切り花をモチーフとする作品や風景を描く作品などから、自然と人間とのかかわりについてご覧いただくセクションに始まります。洋の東西の美術家たちによって庭園や公園を描いた作品のセクション、身近な草木をモチーフに、深い精神性を表現した長谷川潔と駒井哲郎の作品や、花咲き乱れ、緑豊かな山々を色鮮やかに描く丸山晚霞らによる水彩で描かれた風景画の魅力に触れていただきます。

そして眼を転じ、現代作家が自然と向き合い、新たな表現としてどのような作品を展開していったかもご紹介します。

今回の見どころは、木の板などのあまり加工をしていない素材を用い、「空間全体」と「もの」との相互の関係性によって作品を成立させる「もの派」の代表的な作家である菅木志雄の作品です。

2015年から2017年にかけて、イタリア、イギリス、アメリカと欧米で個展を開催し、世界の第一線で活躍を続ける菅が、今回、展示室の空間に合わせて所蔵作品を再構成します。

また、日本画コレクションからは代表的な花鳥画をご覧いただくほか、写真展示室は、梅阪鷺里らをはじめ、国内外の写真家の作品によってピクトリアリズムに焦点を当て、特集展示します。

上)長谷川潔《薔薇と時》1961年
メゾチント、35.3×24.3cm

下)梅阪鷺里《桜》撮影年不詳
ゴム印画、25.5×22.3cm



ポール・セザンヌ
《ガルダンヌから見たサント=ヴィクトワール山》
1892-95年、油彩、カンヴァス、73.0×92.0cm



----- 展覧会のみどころ

○緑化フェアと連携！展示室が自然で溢れます

第33回全国都市緑化よこはまフェア『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』の開催にあわせ、1万1千点を越えるコレクションから、花や緑をテーマにした作品をセレクト。展示室に自然が溢れます。

○世界が目にする美術家・菅木志雄によるアクティヴェイション

世界を席巻する「もの派」の中心人物のひとり、菅木志雄。1999年に横浜美術館で個展を開催した菅が今また展示室を飛び出し、鑑賞者を前に即興的に作品を創り上げます。

○4月1日(土)、6月2日(金)と、会期中2回の無料開館を実施

4月1日(土)はみなとみらい地区で行われる「みなとみらい21 さくらフェスタ2017」を記念し、また6月2日(金)は横浜の開港記念日を祝し、どなたでも無料で展覧会をご覧ください。

小茂田青樹 《ボンボンダリヤ》1922年
絹本着色、78.9×56.0cm



----- 関連イベント

○菅木志雄 アクティヴェイション

展示室の外で行う作家によるパフォーマンスです。

日時： 2017年5月21日(日)

14:30～15:30

会場： 横浜美術館グランドギャラリーほか

申込み・参加費： 不要、無料

○ギャラリートーク

さまざまな切口で学芸員やエドゥケーターが作品の見どころや楽しみ方を紹介します。

日時： 2017年4月28日、5月12日・26日、

6月9日・23日

いずれも金曜日、14:00～14:30

会場： コレクション展展示室

○演劇で美術鑑賞

『彫刻との対話から生まれた物語』

中高生が執筆した戯曲を俳優が上演します。

日時： 2017年3月29日(水)

14:00、15:30 各回40分程度

会場： 横浜美術館グランドギャラリー、
コレクション展ホワイエ

申込み： ウェブサイトから(抽選)

参加費： 無料(当日有効の観覧券が必要)



菅木志雄 《散境》1999年
木、合板、ガラス、H128.0×3063.0×211.6cm
菅木志雄氏寄贈

----- 基本情報

横浜美術館コレクション展 2017年3月25日(土)～6月25日(日)「自然を映す」

会場 横浜美術館 (〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1)

TEL:045-221-0300 FAX:045-221-0317 <http://yokohama.art.museum/>

開館時間 10:00～18:00 *5月17日(水)は10:00～20:30 (入館は閉館の30分前まで)

休館日 木曜日(ただし5月4日(木・祝)は開館)、4月14日(金)、5月8日(月)

主催 横浜美術館

観覧料 一般500(400)円 大学・高校生300(240)円 中学生100(80)円 ※小学生以下無料

* ()内は有料20名以上の団体料金(要事前予約)

*2017年4月1日(土)、6月2日(金)は無料

*毎週土曜日は、高校生以下無料(生徒手帳、学生証をご提示ください)

*障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料

*毎月第3月曜日は横浜市在住の65歳以上の方無料(「濱ともカード」をご提示ください)

*企画展ご観覧当日に限り、企画展の観覧券でコレクション展もご覧いただけます。

プレスリリースお問合せ

横浜美術館 広報担当 (宮野、藤井、市川)

220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

Tel. 045-221-0319 Fax. 045-221-0317 Email: pr-yma@yaf.or.jp